

東京サミットを許すな

釜ヶ崎の解放
 1979 6.28
 釜ヶ崎日雇
 労組台
 (632)
 #273

何く仲間たち

今日、明日と二日間にわたり全日ならなき集められた
 四十万という空前の、警備体制の中で、米帝を頭目と
 する帝国主義諸列強、米、英、仏、西独、伊、加、日
 の首脳、そして、EC代表による東京サミットが開か
 れる。このサミットの、真のねらいは、裏の課題、
 ソ連に対する包圍構築、軍事力にあり、それを裏づけ
 るように、現在、ソ連空母「ミンスク」が、周囲をけ
 んせい航遊している。現在、米帝及び西側帝国主義
 と、ソ連社会帝国主義向の世界分割、争奪戦は日ごと
 に激しさを増し、一方で、イランの反帝民主主義革命
 にみられるように、被抑圧民族の解放斗争は大きく前
 進している。時代はまさに「戦争と革命」に突入し
 ている。米帝は、日、西欧の帝国主義に対する主導
 権を打ち固め、たぎなき一尺引きしめ、世界支配を肩
 がわりさせる中で、①ソ連に対する包圍網を築きなが
 ら、新植民地支配のための戦争準備に積極的に行りだ
 し、世界を帝国主義戦争に引きずりこまんとし、②

つうらるフブク

さらには、33年の世界恐慌——不況をきこみつけにうねり上
った産業構造の転換、経済の軍事化をうけ、世界的規模で、
系統的に人民を搾取しようとしている。

東京サミットの、最大の目的は、まさにここにあり、

仲間たち

日帝支配階級の、この間の有事立法策動、元号法制化、成田治
安立法……等の戦争準備と政治反動攻撃は、帝国主義諸列強が
東京サミットで打ち固めんとしている。戦争と略奪のための
国際反革命体制の一環として、くみこまれてきたものに他な
ない。われわれは、世界的規模で帝国主義戦争準備と略奪を強
めんとしている東京サミットのもくろみに断固反対し、万回の
労働者被抑圧民族と団結して斗争する。